

ネイチャー・ウォーク

平成 28 年 6 月号

2016. 6. 26 発行

(通巻第 270 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

スタンド・バイ・ミー安比奈線(あ、いな！)

(西武新宿線 南大塚駅～JR 川越線 西川越駅)



45 名もの参加者が集まりました



駅前にある廃線跡。線路なんて見えません

快晴の空のもと、なんと 45 名もの参加者が集まりました。今回は 2010 年に歩いたコースの一部リバイバル。1963 年に休止された西武安比奈線の線路跡を見ながら歩きます。この安比奈線、53 年にもおよぶ休止期間を経て、ついに 2016 年 11 月に廃止予定との事。途中、トクサや庚申塔などの話題で盛り上がりつつ、廃線の歴史を偲びながら歩きます。



研ぐ草と書いてトクサ。研磨剤になるなんて驚きです



徳川吉宗の時代の享保に作られた庚申塔



童心に帰ってブランコ。視線の先には？

途中の白髭神社では、イチモンジチョウを捕まえたり、童心に帰ってブランコ遊びをする方もいました。

このブランコ、横幅が広く座りやすいとのことでしたが、横幅の広いスタッフが座った際には、ちょっと大丈夫かどうか不安に感じる方も。幸い、どちらも無事でした。



枕木のない線路を歩きます



まるでスタンド・バイ・ミーの世界

もはや森となっている廃線跡を歩きます。まるで映画のスタンド・バイ・ミーの世界のよう。ただし、ここは日本であることを、ウグイスの声が知らせてくれました。

埼玉県が舞台である2009年朝の連続テレビ小説『つばさ』のロケ地ともなった木の橋の前では、昔のドラマや過去のネイチャーウォークの思い出話で盛り上がりました。



橋は残念ながら通行禁止でした



池辺公園の森の中を散策

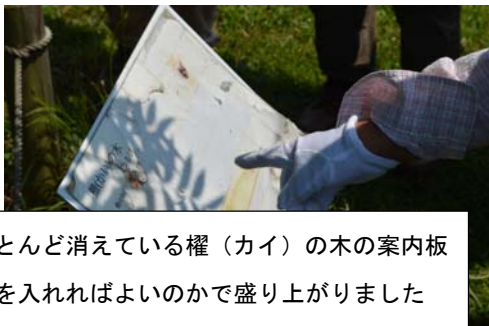
廃線を歩いた後は、池辺公園にて、森の中を散策。森の中にはところどころ運動器具が設置されており、歩くついでにチャレンジされる方もいました。



川越水上公園にてお昼ごはん。

今回は、2名の方に Walk 認定証が送られました。
おめでとうございます。

川越水上公園では、文字が消えている樹木の案内板について、どう補完すればよいかの話題で盛り上がりました。ネイチャー参加者で協力すれば、オリジナルより素晴らしい案内板が書けるかも？



文字がほとんど消えている樺（カイ）の木の案内板
どう文字を入れればよいかで盛り上がりました



川辺では、ナヨクサフジがきれいでした



かつての水泳場の跡地



なかなか見ることのできない煉瓦造りの橋台

入間川沿いを渡り、幻の東武東上線入間川水泳場駅跡地へ。この駅は開設と廃止の時期が資料によって異なるという文字通り幻の駅。昭和 20 年代まで使われていたようです。レトロな遺構が、かつての駅の存在を教えてくださいました。ネイチャーはまだまだ遺構にならぬよう頑張ります。皆様、今回もご参加いただきありがとうございました。